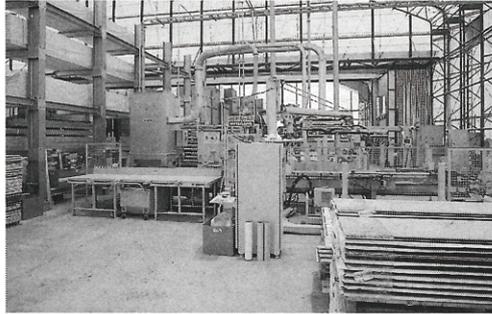


# 構造計算機能を強化

## 非住宅工事力で差別化

村上木材



サイディングプレカットも始めている

村上木材(大阪市、ク(同)、矢山勝司社)は、佐原謙次社長は、グ(長)の大阪工場と福岡(プレテック大阪工場)の大阪南港にあり、大阪市内への立地が良いため、プレカット加工も多いため、3階建住宅など、2022年縮小を見越して、11月期は6万5千坪の加算を予定し、現在4人体制で工実績を上げている。大阪に、さらに1人増員する予定だ。大阪市内の狭小3階建て住宅が多いため、プレカット機を導入し、加算を求められるケースも多い。力をいれたい非住宅部門も現場監視者、徐々に普及が進んでいく。サイディングにも取り組める体制を構築している。非住宅では地場ゼネコンが木造を受けた場合の受け皿になれるよう体制づくりを進めている。佐原社長は「社会的な流れでオーナーが木造を指定してきたり、コストから木造が選ばれようになっている」と、今後の非住宅市場に期待している。大阪工場は機械更新のタイミングを迎え、横架材加工機を発注済みで、来年3月ごろに設置する予定だ。昨年はサイディングプレカット機を導入し、現在は月間20棟前後、現場の廃棄物や粉じん、騒音対策などもある。

村上木材(大阪市、ク(同)、矢山勝司社)は、佐原謙次社長は、グ(長)の大阪工場と福岡(プレテック大阪工場)の大阪南港にあり、大阪市内への立地が良いため、プレカット加工も多いため、3階建住宅など、2022年縮小を見越して、11月期は6万5千坪の加算を予定し、現在4人体制で工実績を上げている。大阪に、さらに1人増員する予定だ。大阪市内の狭小3階建て住宅が多いため、プレカット機を導入し、加算を求められるケースも多い。力をいれたい非住宅部門も現場監視者、徐々に普及が進んでいく。サイディングにも取り組める体制を構築している。非住宅では地場ゼネコンが木造を受けた場合の受け皿になれるよう体制づくりを進めている。佐原社長は「社会的な流れでオーナーが木造を指定してきたり、コストから木造が選ばれようになっている」と、今後の非住宅市場に期待している。大阪工場は機械更新のタイミングを迎え、横架材加工機を発注済みで、来年3月ごろに設置する予定だ。昨年はサイディングプレカット機を導入し、現在は月間20棟前後、現場の廃棄物や粉じん、騒音対策などもある。